

保護司だより

第9号/令和2年2月発行

春日部地区保護司会 (春日部市・杉戸町・宮代町)



宮代町 進修館 四季の丘

日頃より、保護司の皆様におかれましては地域における更生保護活動の推進にご尽力いただき誠にありがとうございます。さて、犯罪のない明るい社会を育むためには、不幸にして犯罪や非行をした人が円滑に社会の一員として復



更生を支える地域へ

宮代町長
新井 康之

帰することができるといえる必要不可欠です。本町といたしまして、犯罪による被害を防止し安全で安心に暮らせる社会づくりを実現するため、地域の皆様とともに、再犯防止の土壌づくりを推進してまいります。

春日部地区保護司会の皆様には、更生保護の活動にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。さて、我が国の更生保護は令和元年に制度施行70周年を迎えました。平成28年には「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行されるなど、再犯防止の重要性が広く



次の十年に向けて

さいたま保護観察所長
岸 規子

認識される中、更生保護活動への期待はますます高まっています。同法の趣旨も踏まえ、関係機関・団体との連携協力を一層確かなものとしつつ、次の十年につながる着実な歩みを重ねていきたいと思っております。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

部会活動紹介

春日部地区保護司会『保護司だより』

研修部会

様々な問題を抱える保護観察対象者の改善更生・再犯防止に適切な対応が可能となるよう、保護司の処遇能力等の向上をめざして、年3回(6月・8月・12月)の定例研修を開催しました。

また、11月には一泊視察研修で水戸刑務所を訪問し、収容施設の現状を視察しました。2月には警視庁・最高裁判所の視察と、さいたま少年鑑別所所長の古橋徹也様を講師に迎え自主研修会の開催も予定しています。研修会では効果的に研修が実施されるよう、企画立案し保護観察所との連絡調整を担当しています。



就労支援部会



仕事に就いていない者の再犯率は、仕事に就いている者の再犯率に比べて約3倍と高く、不安定な就労が再犯リスクとなっていることから、協力雇用主の確保は大きな課題です。

当部会においても実情の把握に努め、地元雇用主3社とともに上尾市内の長年協力雇用主の会社での取り組み状況等についての視察研修を実施しました。さらに、保護観察所とも連携を図りながら、共通認識のもと課題に取り組んでいます。

経営者の皆様、ぜひ協力雇用主に登録をいただき更生活動にご協力ください。

広報部会

保護司とは、どんな活動をしているのか等保護司への理解を深めていただくため年1回広報誌を発行しています。創刊以来初めてカラー印刷を取り入れ、写真・グラフ・表を使い皆様に関心を持っていただけるよう工夫しました。



発行・編集：春日部地区保護司会
事務局：春日部市中央六丁目二番地
春日部市役所生活支援課内

春日部地区保護司会
更生保護サポートセンター
春日部市中央2丁目24番地1
春日部市総合福祉センター
(あしすと春日部内)

地域の方々からの更生保護に関するご相談を企画調整保護司がお受けいたします。事前にご連絡ください。

☎ 048-884-9586
月曜日～金曜日 AM10:00～PM4:00

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク



RE：スタートとは…

『笑顔で声をかけてくれた。
自分を認めてもらえた気がした』
繰り返される過ちも小さなきっかけ
から減らすことができます。
つまづいても立ち上げられる。
そんな社会を目指して。



保護司のクジラ先生



保護司とは、犯罪を犯した人や非行傾向のある少年の立ち直りを地域で支えるボランティアです。

その主な職務には、保護観察を受けている人と面接を行ない指導・助言をすること、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の生活環境を調整すること、犯罪を予防するために地域・学校との連携を密にして、啓発活動を行なうことなどがあります。

春日部地区保護司会名簿

(2020年2月1日現在) ※五十音順

春日部支部					杉戸支部	宮代支部
(粕壁)	(豊野)	(武里)	(豊春)	(庄和)		
飯岡 麻世	石塚 唯夫	飯田 道代	新井 和正	竹村 文美	大串 雅治	伊草美枝子
岡田 誠一	逸見 英男	伊澤しづ枝	河井 崇文	中田 晃	川田 妙悦	小林 次祥
梶川登代子	川鍋 俊夫	石川 豊	清水けい子	中田 健治	菅野 泰孝	田島 正徳
木村奈加子	浪打 彬	梅谷 正之	竹田 正則	野上 幸司	小島 正夫	為ヶ谷千佳子
児島 信弘	(幸松)	金重 光江	寺島 晴代	広松三和子	坂巻 東洋	手島 互
小林 秀樹	尾花 冬樹	小久保博史	當間 義廣	水野 洋	芹沢 久枝	中村 恵子
中島 幸一	熊井 知仁	菅原 由仁	長谷川肇之	山内 融法	高岡 邦人	西田 光一
中田 卯敦	関根 政男	時田 温史	三浦 宏之		武井 浩昌	野口 昌宏
永田 京子	高橋 薫	(武里団地)	峯山 篤雄		野口 道夫	
(内牧)	菱沼 和保	中田 礼子	山崎富美男		馬島由美子	
飯塚 悦子		矢島 順子	渡邊 一民			
野村 三男						
松本 博道						

第69回 "社会を明るくする運動"

内閣総理大臣からのメッセージ

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

安全で安心な国づくりのためには、犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちを再び地域に受け入れ、地域の中で適切な「仕事」や「居場所」を確保することにより、責任ある社会の一員となるよう支え、だれもが「RE：スタート」できる社会を構築することが重要です。

こうした更生保護の取組には長い歴史があり、本年、更生保護制度が施行されて70周年を迎えます。再犯の防止等の推進に関する法律に基づき策定された「再犯防止推進計画」を更に着実に実施し、再犯防止に向けた取組を強力に推進するためには、更生保護の諸活動を一層充実させることが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”と再犯防止に向けた取組の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、様々な分野から、多くの方々にご参加いただきますようご協力をお願いします。



他10件

「やめようよきみのことばで
みらいがかわる」
1年 向井 功太
宮代町立須賀中学校

令和元年7月12日(金)町内の中学校3校で生徒の登校時に、犯罪や非行防止のための啓発グッズを手渡しました。
「社会を明るくする運動」の標語を募集したところ約600件の応募があり、11件が優秀作品として選ばれました。

春日部支部



杉戸支部

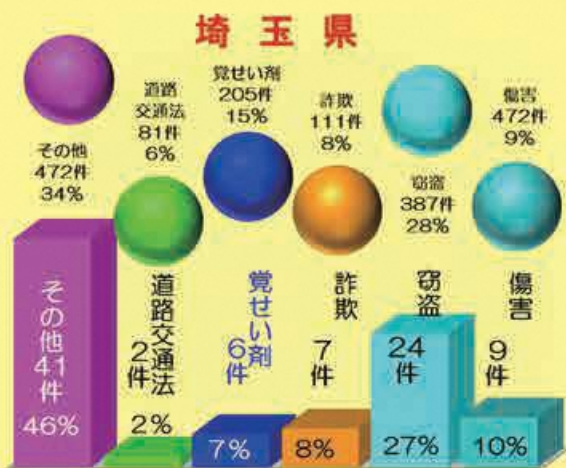


令和元年11月3日(日)道の駅「アグリパークゆめすぎと」で開催された第31回・杉戸町産業祭において「社会を明るくする運動」の広報活動を行いました。
好天に恵まれ来場した多くの方々に運動の目的や保護司の活動について、お話をする機会を持つことができました。た交流ができました。

宮代支部



非行名・罪名別保護観察係属件数(令和元年10月末現在) 地域別保護観察等の状況(令和元年10月末現在)



地域	項目	保護司 現員数	保護観察事件数 ※1		生活環境調整事件数 ※2	
			件数	1人あたり 担当件数	件数	1人あたり 担当件数
春日部市		50人	68件	1.36	74件	1.48
杉戸町		10人	12件	1.2	3件	0.3
宮代町		8人	9件	1.12	4件	0.5
春日部地区		68人	89件	1.3	81件	1.19
埼玉県		1,503人	1,378件	0.91	1,821件	1.21

※1 保護観察とは、犯罪をした人または非行のある少年が、社会の中で更生するように、保護観察官および保護司による支援と指導を行なうものです。
※2 生活環境調整とは、刑事施設や少年院などに収容されている人の保釈後の住居や就職先などの居住や就業先などの帰住環境を調査し、改善更生社会復帰にふさわしい生活環境を整えることによって、円滑な社会復帰を目指すものです。

※ページ内資料・数値：さいたまの更生保護より

第69回 "社会を明るくする運動" 埼玉県作文コンテスト



杉戸町立高野台小学校
2年 下山 大輝

さいたま保護観察所長賞



春日部市立大増中学校
1年 内田 諒太

埼玉県推進委員会委員長賞

令和元年12月26日(木)
さいたま保護観察所において表彰式がおこなわれました。
春日部地区内からは、中学生の部で1名、小学生の部で1名が受賞いたしました。心のもったとても素晴らしい作品です。おめでとうございます。